

みずほCustomer Desk Report 2016/09/15号(As of 2016/09/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	102.85
TKY 9:00AM	102.50	1.1219	115.02	0.9770	1.3191	0.7467
SYD-NY High	103.35	1.1275	116.08	0.9790	1.3240	0.7496
SYD-NY Low	102.24	1.1211	114.94	0.9707	1.3139	0.7451
NY 5:00 PM	102.43	1.1248	115.22	0.9730	1.3239	0.7466
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.67/14.12		△25RR		0.373	Yen Call Over

	債券市場	為替市況	商品市況
NY DOW	18,034.77 ▲31.98	日本2年債	-0.2590 ▲1.5bp
NASDAQ	5,173.77 18.52	日本10年債	-0.0210 ▲0.8bp
S&P	2,125.77 ▲1.25	米国2年債	0.7580 ▲4.0bp
日経平均	16,614.24 ▲114.80	米国5年債	1.2064 ▲3.9bp
TOPIX	1,314.74 ▲8.25	米国10年債	1.6976 ▲3.0bp
シカゴ日経先物	16,430 ▲175.00	独10年債	0.0210 ▲5.0bp
ロンドンFT	6,673.31 7.68	英10年債	0.8740 ▲3.7bp
DAX	10,378.40 ▲8.20	豪10年債	2.0930 2.8bp
ハンセン指数	23,190.64 ▲25.12	USD/CNH	6.6673 ▲0.0232
上海総合	3,002.85 ▲20.66	ドルインデックス	95.29 ▲0.34
USDJPY 3M Vol	12.96 0.22%	CRB指数	179.495 ▲1.07
USDJPY 6M Vol	12.20 0.08%	NY金	1,326.100 2.40
EURJPY 3M Vol	12.25 0.38%	WTI	43.580 ▲1.32
EURJPY 6M Vol	11.98 0.25%	Dubai Spot	43.46 ▲0.16

東京
東京時間のドル円は102.50レベルでオープン、日本経済新聞が「日銀、マイナス金利軸に」、「総括検証 緩和強化を視野」と報じ、日銀への追加緩和期待等から円売りが進行する展開となり、ストップを巻き込んで一時103.20まで上昇。本邦7月鉱工業生産・確報値は速報値から下振れとなったものの、市場の反応は限定的となった。その後は、日経平均株価がマイナス圏での推移が続いたこと等から102円台後半まで下押しされる局面も見られたが、引けにかけて再び円売りが強まる展開となり、一時103.35まで上昇した後、103.28レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)

ロンドン
ロンドン時間のドル円は103円台前半から102円台半ばまで下落。朝方は103.28レベルでオープンし、一目雲の下限がレジスタンスとして意識される中、103円ちょうど近辺のストップを巻き込みながら102円台半ばまで続落。ロイターより関係筋の話として「日銀、マイナス金利拡大や利回り曲線修正も検討」「新たなフォワードガイダンスの手法、検討の可能性」「年間80兆円の国際購入は減額しない公算」との報道が注目を集めたものの、大きな市場反応はなく、102.76レベルでNYへ渡った。一方、ポンドは1.32台前半から1.31台後半まで下落する展開となった。朝方は1.3208レベルでオープン。英8月失業保険申請件数が前月から2.4K増加し、前月の数値が▲8.6K→▲3.6Kへ減少幅が縮小したが、市場反応は比較的限定的となった。その後1.32ちょうどを挟んで推移し、1.3185レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ルアー 日比野0531 444 179)

ニューヨーク
日銀追加緩和期待などから東京時間にドル円は103.35の高値を付け、102.76レベルでNYオープン。朝方発表された8月輸入物価指数(前月比)は予想を下回ったが、市場への影響は限定的。堅調に寄り付いたタウ平均の動きに連れて102.97まで上昇するが、原油相場の下落を受けてリスク回避の動きが強まるドル円は下落。午後に入ってから、タウ平均がマイナスに転じたこと等から、上値の重い推移となりドル円は一時102.24まで下落し、102.43レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは、1.1210から1.1240でのレンジ内の値動きの後、1.1224レベルでNYオープン。新規材料に欠く中、米10年債利回りの低下を受けて、ドル売りが優勢となると一時1.1275まで上昇。しかし積極的に上値を追う展開とはならず、ユーロドルは1.1243まで反落し、1.1248レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月14日	13:30	日 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	7月 -0.4%/ -4.2%	-/-
	17:30	英 失業率	8月 2.2%	2.2%
	17:30	英 ILO失業率	7月 4.9%	4.9%
18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -1.1%/ -0.5%	-1.0%/ -0.8%	
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-
	21:30	米 輸入物価指数(前月比)	8月 -0.2%	-0.1%

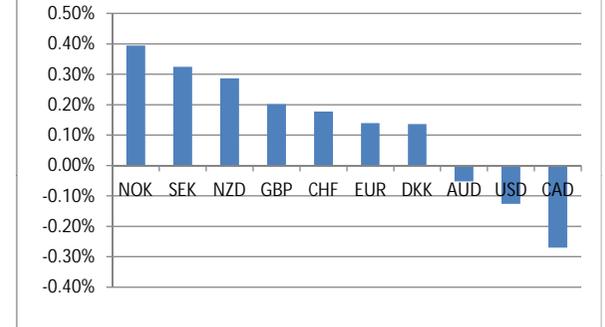
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月15日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	8月 15.0K/ 5.7%	25.3K/ 5.7%
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	8月 -0.4%/ 5.4%	1.4%/ 5.9%
18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/ 0.2%	-0.6%/ 0.2%	
	18:00	欧 コアCPI(前年比)	8月 0.8%	0.8%
	20:00	英 BOE政策金利/資産購入目標	-	0.250%/ £435B
21:30	米 小売売上高・除く自動車(前月比)	8月 0.2%	-0.3%	
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/ 0.1%	-0.4%/ -0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	265K
22:15	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	9月 -1.00	-4.21	
	米 鉱工業生産(前月比)	8月 -0.2%	0.7%	
	米 設備稼働率	8月 75.7%	75.9%	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.00-103.00	1.1200-1.1300	114.50-116.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は、軟調な原油相場や米株式市場、米長期債利回りの低下などを背景にアジア時間の上昇幅を打ち消す値動きとなった。本日は、米国から複数の重要指標が発表される。市場予想比強かろうとも来週のFOMCを前に動きは限定的だろうが、弱い結果となれば9月だけでなく米国の今後の利上げ観測にも低下圧力となり、ドルを押し下げることが考えられるため、ネガティブインパクトには注意しておきたい。